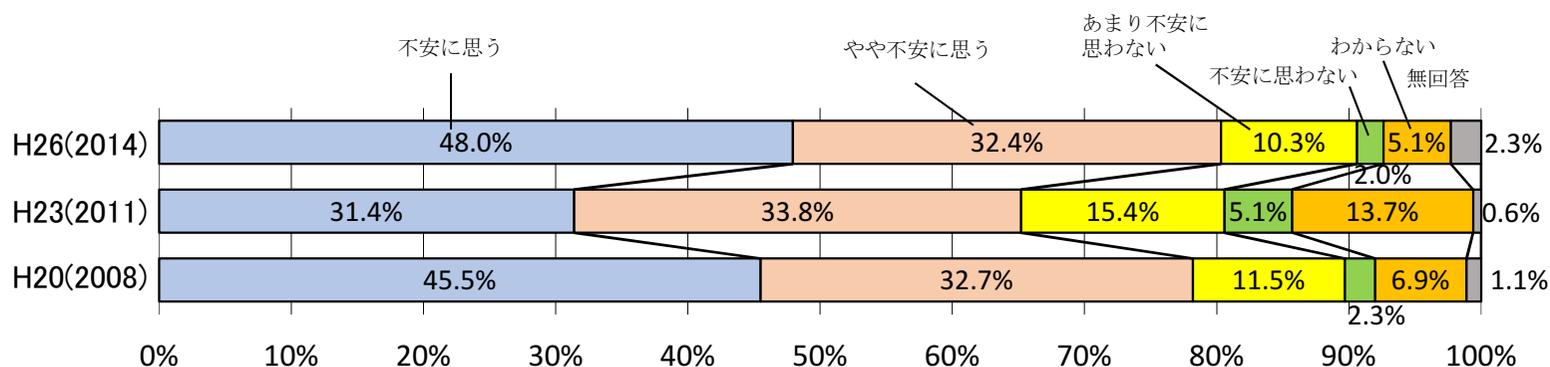


遺伝子組換え作物等について道民意識調査の結果 (平成20、23、26年(2008、11、14年))

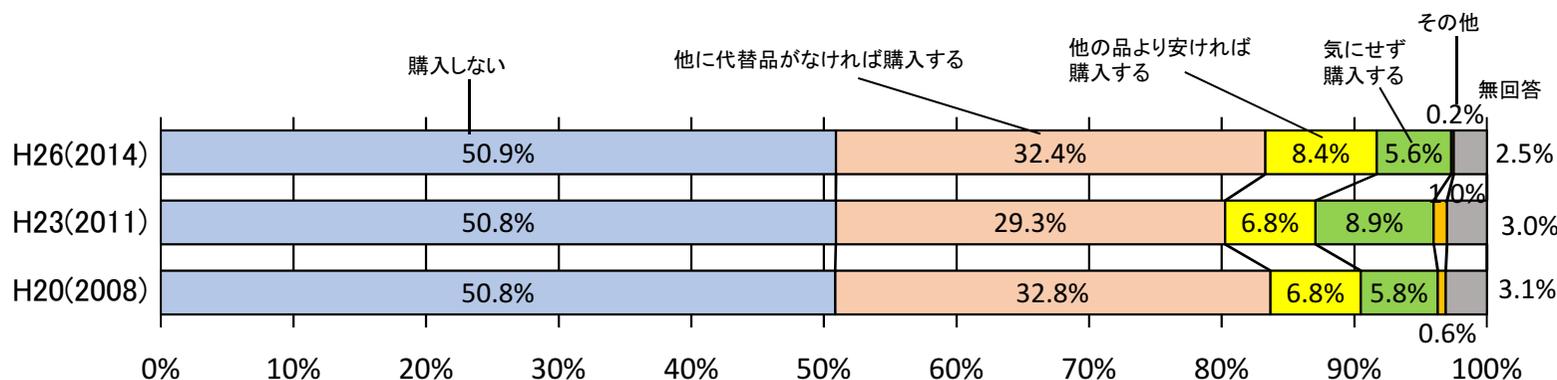
参考資料7

【問1】 遺伝子組換え作物及びそれを使った加工食品の安全性について、どのように思いますか。



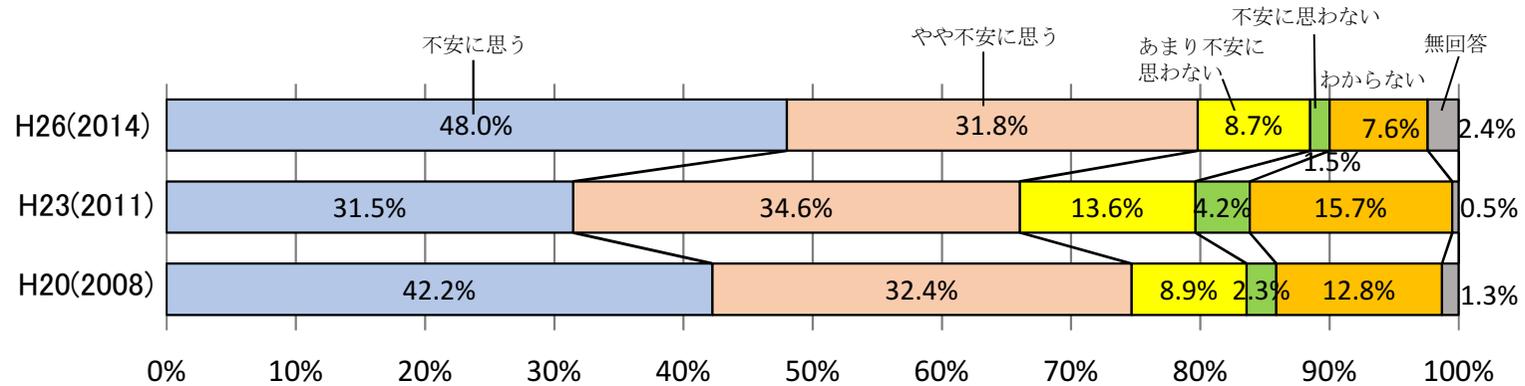
「不安に思う」と「やや不安に思う」で80.4%と、不安を持っているとの回答が8割を占め、前回（H23：65.2%）より増加している。

【問2】 購入しようとした作物及び加工食品に「遺伝子組換え」と表示されている場合、どのように対応しますか。



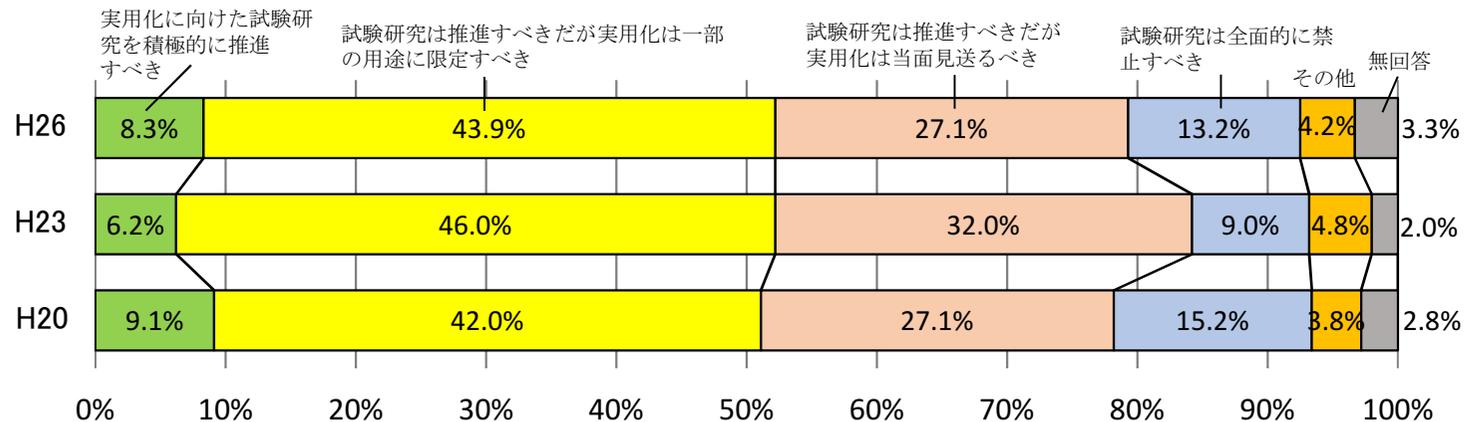
「購入しない」は横ばいで、50.9%と約半数が購入することに否定的である一方、「気にせず購入する」は1割未満となっており、「遺伝子組換え」と表示されている場合の抵抗感は依然と強い状況にある。

【問3】 遺伝子組換え作物を栽培することによる自然や環境への影響について、どのように思いますか。



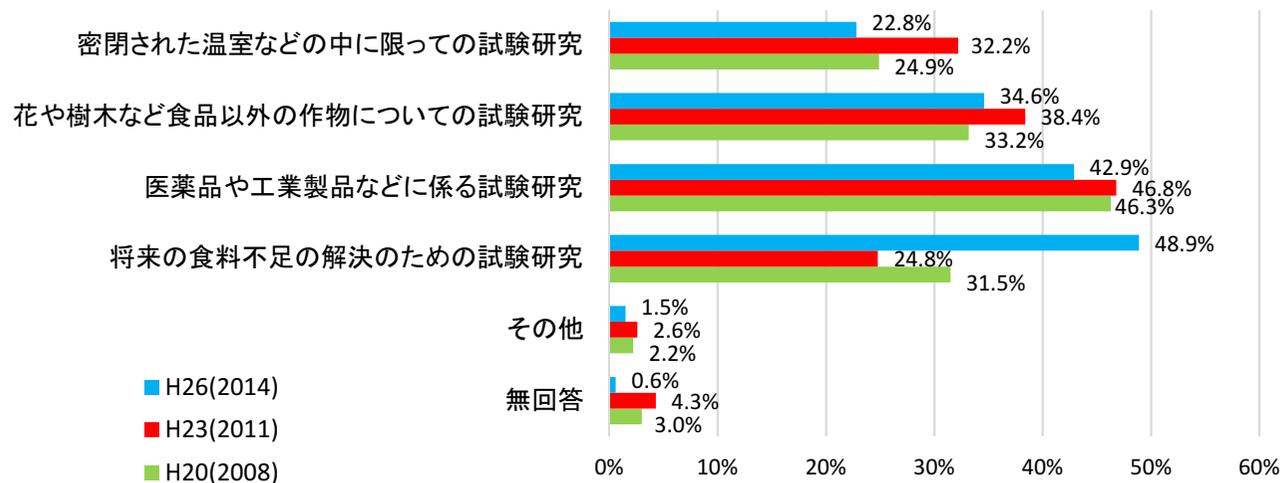
「不安に思う」と「やや不安に思う」で79.8%と、約8割が不安を持っている。

【問4】 遺伝子組換え技術の試験研究について、どのように思いますか。



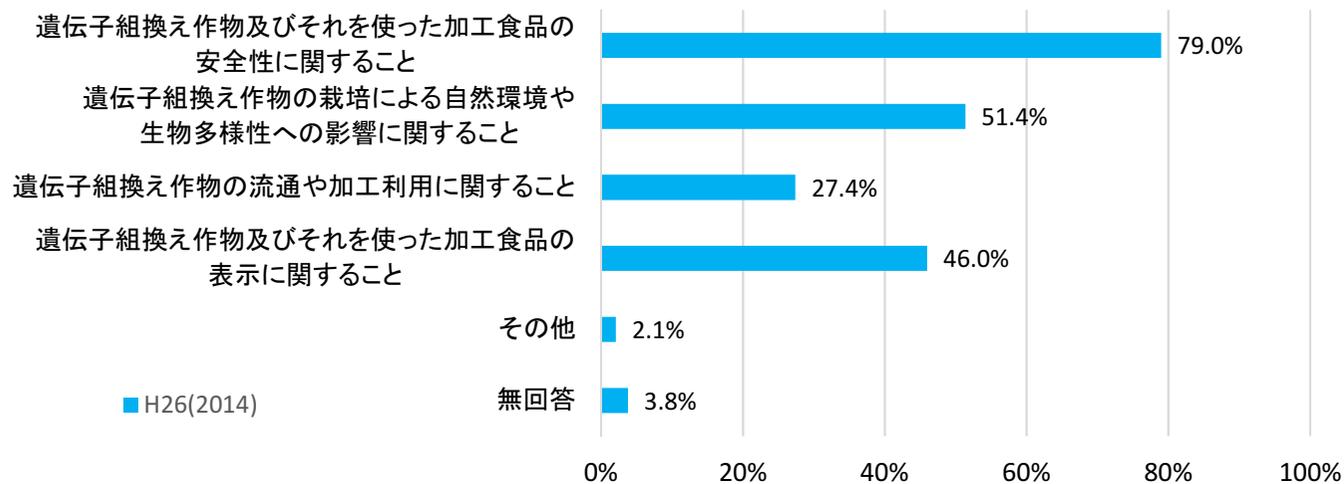
「実用化に向けて積極的に推進すべき」は引き続き1割に満たないが、「一部の用途に限定」や「実用化は当面見送る」といった条件付きも含めると、試験研究を推進すべきとする意見は約8割を占める。

【問5】（「問4」で試験研究は推進すべきだが「実用化は一部の用途に限定」または「実用化は当面見送る」を選んだ方）
 どのような試験研究なら行ってもよいと思いますか（複数回答）



過去2回の調査と比較し、「将来の食糧不足の解決のため」が大きく増加した。

【問6】遺伝子組換え作物及びそれを使った加工食品について、どのような情報を入手したいと思いますか。
 （複数回答）



安全性への関心が、自然環境・生物多様性への影響や、食品表示に関することを大きく上回っている。